

## 令和6年度 第2回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会議事録

開催日時：令和6年10月4日（金）午後2時～午後3時15分

開催場所：KTXアリーナ 2F 会議室3

出席者：大勝志津穂委員、岩田正武委員、河合荘太郎委員、水野三佳委員、  
山田尚代委員、櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、岩田一洋委員、  
植島禎一委員、委員計9名  
村教育長 松本教育部長  
事務局

欠席者：横山史明委員

傍聴者数：2名

委員長あいさつ

教育長あいさつ

### 議題

- (1) 令和6年度 推進計画について
- (2) 作業部会での検討についての報告
  - ・地域移行までの学校部活動の実施について
  - ・保護者への周知の方法について
  - ・実証事業参加生徒・保護者及び指導者の意見について
  - ・その他事項

### 会議資料

- 資料1 江南市運動部活動地域移行 推進計画（案）
- 資料2 江南市の運動部活動地域移行について（お知らせ）
- 資料3 令和6年度前期 KONANクラブアンケートの結果概要について  
（報告）

### 議事内容

- 議題（1）令和6年度 推進計画について

### ○事務局

資料1により説明

推進計画では、運動部活動の地域移行の取組について、推進体制を構築するとともに、目的を明確にして、各関係団体の役割を定めて連携を取りながら進めていくこととしている。

第1回検討委員会でお示しさせていただき、その後、8月9日に開催された第1回作業部会においても議題として、委員にご意見を伺った。

作業部会からは、この計画（案）に対するご意見等はなかったため、前回の会議でお示しした内容で変更点はない。

議題1では、この推進計画の内容について、ご承認をいただきたい。

#### ○委員長

令和6年度 推進計画について承認が求められている。ご意見等があれば伺いたい。

#### ○委員

確認で、江南市がめざす地域クラブとしては、大会へは積極的に参加しない、という意味として捉えてよいか。

#### ○事務局

内容は現在の学習指導要領に沿った考えであり、これまで教員が担ってきた部活動を地域で実施していく意味である。勝利に特化した活動であると、子どもの負担が大きくなり、スポーツの楽しさを味わえない可能性がある。気軽にスポーツを楽しんで、好きになってもらう、という点に主眼を置いた考えである。

#### ○委員

今まで参加してきた大会へ積極的な参加はしない、と捉えられるのではないか。

#### ○事務局

これまでも、学習指導要領に沿った運営の中で、諸大会には出場している。江南市がめざす地域クラブでも、引き続き大会には出場していくことは考えられる。

#### ○委員

内容に誤解のないように説明していくようにしてほしい。

#### ○事務局

そのような誤解を招かないよう確認し、説明をしていきたい。

#### ○委員

推進計画の対象は全校の生徒か、部活動をしている生徒になるのか。

#### ○事務局

江南市の市立中学校の全生徒に向けた内容になると考えている。

この計画の期間については、移行期間を対象とした令和8年8月末までとしている。ただし、大きな社会情勢の変化等があれば必要に応じて見直していく。

#### ○委員

各種大会の参加について、参加の決定権は学校にあるのか、地域クラブにあるのか、どう考えるのか。

### ○事務局

方針の中で決めているが、大会へは、令和8年夏までは学校で出場し、2学期以降の休日は学校での活動ではなくなるため、地域クラブとして出場していくこととなる。

しかし、現在、学校の部活動の種目に無いバドミントンのような種目は、地域クラブとして出場することも可能であると考えている。

### ○委員

令和8年2学期以降の大会出場は、地域クラブに決定権があるということによいか。

### ○事務局

その通りである。

### ○教育長

この推進計画は、令和8年8月末までの移行期間をスムーズに進めるための計画であると理解いただきたい。大会出場については、今後も中体連の動き等の情報を集めていきたい。令和8年2学期以降の大会参加については、集められた情報を基に地域クラブと話し合い進めていく。

### ○委員

地域クラブへの参加費を500円程度と記載しているが、推進計画には具体的な金額は入れない方がいいのではないか。

### ○事務局

市では令和7年度から9年度まで3年間の実施計画の予算の中で、500円で積算している。実施している試行実践でも500円の参加費を徴収している。令和8年度までの移行推進期間でも500円として示しながら活動を進めていきたい。試行を進めていく中で、不都合があれば見直すことも考えるが、参加者への周知の面からも金額を示して進めていきたい。

### ○委員長

他にご意見もないようなので、江南市運動部活動の地域移行に関する「令和6年度 推進計画」については、この内容で本検討委員会にて承認することとしてよろしいか。

挙手にてお伺いしたい。

(挙手全員により承認)

それでは、続いて議題(2)の「作業部会での検討についての報告」について、事務局より説明をお願いしたい。

## 議題（２） 作業部会での検討についての報告

- ・地域移行までの学校部活動の実施について
- ・保護者への周知の方法について
- ・実証事業参加生徒・保護者及び指導者の意見について
- ・その他事項

### ○事務局

第1回の作業部会で、委員の皆様からご意見をいただき、検討をした内容について、報告していきたい。

まず、「地域移行までの学校部活動の実施について」で、現在の試行実践は主に第1、第3日曜日に中学校体育館及びグラウンドを利用して活動しているが、スケジュール調整の観点から、指導者や運営担当の方々より、学校施設の使用について活動できる日を増やして欲しいとの要望がでてくる。そこで、事務局から校長会にお伝えをし、ご相談させていただいたところ、すぐにご対応くださり、校長会として、ご議論をいただいた。その内容について、校長会代表で出席されている河合委員にご発言いただきたくお願いしたい。

### ○委員

8月の校長会の中で、中学校部会を開いてお話をさせていただいた。

現状の地域クラブの月2回利用から回数を増やして欲しい、とのことであるが、内規で学校部活動は土・日のいずれか1日の活動とされているため、各中学校は遵守して活動している。そのため、休日の1日を開けることは可能だが、部活動の規模が大きい中学校では、必ず会場を空けることができる確証は取れない。

学校の施設を使っただくことには問題はないため、場所を複数に分けて、使用できない学校がある場合は、別の学校を利用する形で開放することは可能である。徐々に地域へ移行していくことに対して協力していこうとまとまった。

大会への参加は令和8年夏までは学校単位とされているため、それまでは、休日の1日の活動は確保していただきたい、との意見もあった。

地域クラブと学校が連絡を密にして、日程調整をしながら進めていってはどうか、との結論となったので報告する。

### ○事務局

活動の幅が広がると思うので、スポーツクラブ江南と相談しながら、有効に利用していきたい。

#### 資料2により説明

次に議題2のふたつ目、「保護者への周知の方法について」は、作業部会から更なる保護者への周知が必要ではないかとの意見が出ましたので、ご議論をお願いするものです。

小中学校長あての周知文書とともに、現在の江南市の方針と試行実践を行っているKONANクラブの参加者募集チラシを添付してある。これらを通じて、教育委員会と学校との情報共有を改めて図っていきたい。

続いて、小学校各学年別の保護者向けのお知らせ文書とQ&A形式による参考

資料を付けている。これらの文書は、学校を通じて、生徒・児童のご家庭に配布をお願いする予定としている。

### 資料3により説明

議題2の三つ目は、今年度前期のKONANクラブによる試行実践に参加された生徒と保護者、指導者を対象に実施したアンケートの結果である。

回答方法は地域クラブの連絡用アプリを使用した。

前期実施したKONANクラブについて、以降は、回答された方の割合であるが、参加生徒の93.8%及び保護者の93.4%が、概ね満足 of いくものであった。

保護者にお尋ねしたクラブ活動への参加費について、61.5%が「ちょうどいい」との回答、負担・負荷についても65.9%が「あまり感じなかった」と回答されたことから、受益者負担の考えは、参加者の保護者には理解されていると推察できる。

後期に向けて、引き続き参加すると考える生徒が75.3%を占めるものの、保護者からは、子どもの交友関係の広がりやスポーツ技術力向上、活動場所への送迎について、不満の意見も見られた。また、活動日数を増やして欲しい、参加する生徒が参加しやすいよう日程調整して欲しい、参加費や活動費の徴収を柔軟にして欲しい、気候や怪我等への対応を万全にして欲しい、などの多くの要望があった。

指導者の意見として、子どもたちとのふれあいが楽しかった、生徒が成長していることを実感できた、活動機会が少しでも保障できるといった感想、また、活動日数が少ない、暑さ対策が必要、生徒の移動を考慮した会場設定が必要といった、参加した子どもが満足できるよう、様々な提案もなされた。

いただいた意見を十分に精査し、今後の運営に反映するとともに、市の施策に活かしていく必要がある。

生徒・保護者・指導者それぞれを対象としたアンケート結果の集計値を掲載してあるのでご参照いただきたい。

また、本年5月時点の学校部活動の実施状況及び本年前期、5月から9月における、地域クラブ活動の試行実践の実施状況を添付した。当初300人程度の参加を見込んでいたが、実績としては197人の参加者で、指導員は合計64人で実施した。

議題2の最後、「その他事項」として、作業部会で頂いたご意見と、現在、取り組んでいる内容をお知らせしたい。

1点目は、試行実践から地域移行に進むうえで、指導者の確保が重要な事項となることから、市のホームページに指導員募集を掲載して、広く呼び掛ける準備をしている。応募方法は愛知県人材バンクシステムを利用して登録をお願いする方法を考えている。

2点目は、中学生の活動の選択肢を広げるため、市内で活動されている一般のクラブチーム等のリストを作成して、児童・生徒及び保護者に情報提供していくことについて検討をしている。

3点目は、中体連の情報については、ご担当者にお尋ねしたが、例年通り、年明けにならないと正確な情報が示されない、との回答であった。事務局としまし

ても今後の動向に注視して情報収集をしていく。

その他の事項、議題の説明は以上である。

#### ○委員

資料の中のKONANクラブの参加者募集チラシの中の種目が令和8年2学期以降、地域移行をする種目と理解すればよいか。

#### ○事務局

この資料の種目は今年度下期に試行実践を行う種目である。地域移行する時には、可能な限り種目は増やしていきたいと思うが、水泳など実施が難しい種目もある。

#### ○委員

これから中学校に入る子どもが選びやすいよう、出来る限り地域クラブで実施する種目は、わかりやすい資料を作成して、早く知らせていただきたい。

#### ○事務局

指導者確保のこともあるが、可能な種目については早くお知らせしていきたい。

また、生徒が参加希望種目の予備登録をして、スポーツクラブ江南の活動の受け皿確保をしていくことも考えている。

#### ○委員

令和8年2学期に向けて、種目の増や利用施設の確保等、移行するに当たって受け皿を広げていくよう対応していくものと理解し、試行実践の種目のままで進むものではない、との認識でよろしいか。

#### ○事務局

その通りである。

現在実施していない種目で、希望の多かったダンスなどの種目は、スポーツクラブ江南に相談しながら、指導員確保などの要因が整えば増やしていく検討も必要だと思う。

今の段階では、確実に運営できる種目に力を入れたいと考えている。

#### ○委員

生涯スポーツとして若い年代が、どの段階でスポーツに親しんだか、ということが大切である。江南市のスポーツ文化を発展させるため、極力多くの子どもが多く場所でスポーツに携われるような形を創っていただきたい。スポーツ協会も、協働してより多くの子どもたちの生涯スポーツの発展に協力していきたい。

#### ○事務局

スポーツ少年団、スポーツ推進員の方々にも相談して、協力をいただいて協働して進めていきたい。

### ○委員

各学校で部活動として実施している種目が違うため、どこの学校でどの種目が実施されているか、また、地域移行後は、この種目はこの学校で活動する、という情報を分かりやすく伝えた方がよい。

### ○事務局

子どもにも分かりやすいよう、スライド等を作成して説明する予定をしている。子ども目線、保護者目線でみていただける資料を、今後も作成していきたい。

### ○委員

現在、学校で実施できていない種目が、休日の地域移行でできることになった場合、その種目の平日の活動はどのようになっていくのか検討して欲しい。

### ○事務局

江南市の方針の中で、まずは休日の地域移行をした後、平日も含めた地域移行をしていくこととしているので、指導者の確保等と併せて、これからの課題となっていく。現在は、まだ方向性が定まっていない。

### ○委員長

資料の語句として、一般のクラブチームに「勝利至上主義」という言葉を使用すると、一般のクラブチームが良くないものであるというイメージを強調し、地域クラブと対立するようなものとして理解される可能性がある。勝利志向というような言葉に変更してはどうか。大会に出ることは日頃の成果を発表することであり、大会に出ることが勝利至上主義と直結する訳ではないので、そのように取られないように説明する方がよい。

### ○事務局

誤解の無いような言葉を使うようにしていく。

### ○委員

競技力向上とするだけでいいのではないか。勝利至上主義とかプロ志向とかの言葉は必要ないのではないか。

### ○委員

アンケートの合計人数は試行実践の参加者数ということでよいか。また、指導者数の合計の数字で、教員と大学生を差し引いた人数はどのような人になるのか。

### ○事務局

合計人数は試行実践の参加者数となる。指導者は教員と大学生、そして一般社会人の方の合計となる。

### ○委員長

アンケートの中でいただいた意見については、参考にして反映していくようにしていただきたい。積極的な意見もたくさんあったので、検討して実現できる方

向に向かっていただきたい。

議題2は以上として、その他をお願いしたい。

#### ○事務局

第3回の検討委員会を令和7年2月21日（金）の午後2時から開催したい。

スポーツクラブ江南と詳細の話し合いを進めているが、次回にはっきりとした方針が出せればと思っている。

作業部会については、今回特にご意見や調査依頼等がなければ、開催しないこととしたい。

\*議事の外で、小学6年生児童向けに作成した部活動の地域移行についての説明用スライドの試写（委員には机上にスライド資料配布）

以下は、試写後の参考意見

○事務局

子ども向けに言葉使い等をわかりやすくして、説明用に作成した。  
この資料は、児童に貸与されているGIGA端末を利用して見ていただきたいと考えている。

○河合委員

休日は生徒全員が地域クラブに参加するという様に捉えられる。参加費も生じるため、生徒が自由に選択できることが分かる方がよい。

○植島委員

種目により開催する学校が変わることが分かる表現がよい。

○岩田委員

教員の働き方改革を第一とした方がよい。

○委員長

順番をつけると、その番号で優先順位の高さを考えてしまい、誤解されるので、番号を削除してはどうか。

動画にするか、言葉を付けるかしないとわからない。

○岩田副委員長

中学校で使う正しい言葉を使用するよう。  
教員の働き方改革については、子どもには言葉では理解されないと思う。

○事務局

作業部会委員にも投げかけをして、意見を聞いたうえで調整させていただく。

○植島委員

教員の働き方改革に関することは、書かない方がいいのではないか。  
題名についても、子どもが正確に理解できるような表現にした方がいいと思う。